※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	書道Ⅱ（光村出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書Ⅰで身につけた表現方法を生かし篆書や隷書など新たに違う表現方法を学び、書の表現の幅を広げてみましょう。
・字典を引き、自分自身で創作するということを経験し、自分らしい作品を書くことができるようになることを目ざしましょう。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付けている。 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を創意工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について、その価値を考え、書のよさや美しさを主体的に味わおうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期前半	漢字の書	・篆書の古典に学ぼう 書体の変遷 篆書の基本用筆 甲骨文 泰山刻石 石鼓文 ・隷書の古典に学ぼう 隷書の基本用筆 乙瑛碑 居延漢簡	a：:逆筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 b：篆書、隷書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c：篆書、隷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 字の成り立ちに興味を持ち、代表的な篆書の古典を知り、そのよさや美しさを主体的に味わおうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
	漢字の書	・草書の古典に学ぼう 十七帖 自叙帖 風信帖 ・創作 篆書・隷書・草書の三書体から書体を選択する。 字句選文 草稿 創作 鑑賞	a：順筆、筆の動かし方を身に付けている。 作品の意図を明確にするための表現の技法を身に付けている。 b：草書の基本的な用筆方法を理解し、表現を創意工夫している。 各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を創意工夫している。 c：草書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な草書の古典を知り、そのよさや美しさを主体的に味わおうとしている。 三書体（篆書・隷書・草書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを主体的に味わおうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

後期後半	篆刻	・自分の名前調べ （篆書） ・名前(大)の制作	a: 様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさについて理解している。印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付けている。 b: 篆刻における分間布白を理解し、表現を創意工夫している。 c: 名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
	仮名の書	・仮名の古典に学ぶ 高野切第一種 寸松庵色紙 色紙による作品制作 鑑賞	a: 基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身につけている。 b: それぞれの古筆のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を創意工夫している。 c: 仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを主体的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
	漢字仮名交じりの書	・古典の書風を生かした創作	a: 書風の分析が的確で、表現技法へ転換する技法が身に付いている。 表現の工夫によって多彩な書の表現が生まれることを理解し、古典の書風と表現例を関連づけて分析する技能を身に付けている。 b: 作品のテーマと書風の関連性を意識し、表現のねらいに対する技法上の工夫とその効果を的確に捉え、創作の構想に生かそうと創意工夫している。 c: 古典の書風を生かして、主体的に創作しようとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度